

1. 基本情報							
施策コード	123	施策名	文化・芸術・スポーツ活動の支援				
将来像	1	安全でうるおいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)					
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち					
主担当部	教育部	主担当課	生涯学習スポーツ課	係	生涯学習係		
担当者	石川 智裕	役職	教育部長	内線	321		
関係課	郷土博物館						

2. 施策の方向							
10年後の姿	市民は自分にあつた文化・芸術・スポーツ活動を楽しみながら、健康で心豊かな生活を送っています。また、そのような活動を通して、人と人との交流の広がりや深まりが進んでいます。						
施策の方向性	1	市民文化・芸術の充実と発展をめざします					
	2	誰でも気軽にスポーツ活動に親しめる環境をつくります					
	3						0
	4						0
	5						0

3. 構成事業の状況		(単位:千円)					
No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度予算
0110050314	特別展事業	対象	1	郷土博物館	1,147	646	1,007
0110050103	コミュニティプラザ運営管理事業		すべて	生涯学習スポーツ課	38,907	45,279	204,977
0110050104	文化活動振興事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	2,897	4,026	4,978
0110050106	文化団体育成事業		1	生涯学習スポーツ課	620	620	620
0110050109	地域市民センター等運営管理事業		すべて	生涯学習スポーツ課	97,718	94,340	111,781
0110050110	清瀬けやきホール運営管理事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	71,418	70,830	72,668
0110050701	生涯学習センター運営管理事業		すべて	生涯学習スポーツ課	44,325	43,322	47,812
0110060103	スポーツ推進委員活動事業		2	生涯学習スポーツ課	1,587	1,577	1,731
0110060104	体育等振興事業	対象	2	生涯学習スポーツ課	2,170	2,288	2,012
0110060105	学校体育施設等開放事業		2	生涯学習スポーツ課	136	40	156
0110060106	スポーツ団体育成事業		2	生涯学習スポーツ課	1,773	2,044	2,130
0110060201	体育施設管理事業	対象	2	生涯学習スポーツ課	51,654	280,311	120,797
総事業費(施策の合計)					314,352	545,323	570,669

4. まちづくり指標							
指標情報			平成26年度	平成27年度	平成28年度		
①	名称	スポーツレクリエーション競技団体数	目標値	—	—	36	
	説明	まなびすと掲載団体数	実績値	—	34		
	抽出方法	2015まなびすとより抽出	達成率	—	—		
②	名称	芸術・文化を觀賞する、または活動を行う団体数	目標値	—	—	93	
	説明	まなびすと掲載団体数	実績値	—	93		
	抽出方法	2015まなびすとより抽出	達成率	—	—		
③	名称		目標値				
	説明		実績値				
	抽出方法		達成率				

5. 評価

評価基準	評価	評価理由
投入財源・成果 （「3. 構成事業の 状況」「4. まちづくり 指標」）に対する 評価	総合評価 B	構成事業の状況については、施策の方向性1には特別展事業、文化活動振興事業、文化団体育成事業、清瀬けやきホール運営管理事業を、2にはスポーツ推進委員活動事業、体育等振興事業、学校体育施設等開放事業、スポーツ団体育成事業、体育施設管理事業を、1～2の両方には、コミュニティプラザ運営管理事業、地域市民センター等運営管理事業、生涯学習センター運営管理事業がそれぞれ目的達成の手段として構成され、「10年後の姿」を達成するために適当な事務事業が展開されている。 文化・芸術関係では、石田波郷俳句大会が全国規模（海外含む）となり、認知度も高まった。シニアカレッジでは高齢者に外出機会や学ぶ機会を継続的に提供し、全講座抽選となる人気講座となった。「初めての俳句教室」から句会が生まれ、市民主体の活動も増えつつある。スポーツ関係では、児童・生徒向けの陸上や水泳の記録会、サッカーやドッジボールの大会を実施。学年が変わっての継続参加や、新入生等の参加も見られた。スポーツ推進委員の献身的な活動が、市民の認知度を上げ、施策の成果に繋がっている。

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由	前回評価からの修正 あれば
市民ニーズ の状況	高齢者や小・中学生を対象とした市主催の生涯学習講座等に参加する希望が多い。	2. 施策遂行に不利	参加者が、高齢者や小・中学生のため、市による講座を受講した後に、受講者自らによる主体的な活動につながりづらい。	
将来人口 の推移	少子高齢化社会。	3. 施策の必要性を高める 2. 施策遂行に不利	高齢者の技術等を継承していく機会を創出できる（必要性）。しかし、対象としたい現役世代の参加が難しい（不利）。	
他自治体 との比較	近隣市に比べて整備されたサッカー場がある。	1. 施策遂行に役立つ・有利	いろいろな市民団体からサッカー場の利用について希望があり、当該施設を生かした施策展開に役立つため。	
民間企業・NPO ・市民の動向	総合型地域スポーツクラブ「清瀬キラリ」という団体が平成28年3月に発足した。	1. 施策遂行に役立つ・有利	体育協会やスポーツ推進委員のほか、スポーツ振興に寄与する団体が増える程、市内のスポーツに関する取り組みが活発となるため。	
法・制度改正 の動向				
技術革新 の動向				
その他	2020年オリンピックパラリンピック東京大会に向けて東京都を中心にスポーツや文化活動を振興する動きがある。（都の補助メニューの提案、スポーツをしていない関心層25%への働きかけの推進）	1. 施策遂行に役立つ・有利	2020年オリンピックパラリンピック東京大会に向けてスポーツ・文化活動を推進するのに有利である。	

7. 今後の施策課題

No.	今後の施策課題	左記課題に関する現在の取組状況
①	サッカー場および運動施設の維持管理	平成29年度から新しい指定管理期間になるため、新指定管理者には、運動施設の維持管理や貸出方法について提案をいただくように進める。
②	文化・芸術事業の継続的見直し（時代のニーズの確認等）	長期的に実施している講座については、参加率やニーズの確認を実施したり、講座の切り口（対象者等）を変更している。
③	東京2020年大会を契機と捉え、スポーツや文化・芸術に関して市民の機運を高め、一層推進し、東京都の取り組みや補助メニューについて積極的に活用を図る。	東京2020年大会に関する事業は、東京都の取り組みに参加する形（NO LIMITS CHALLENGEノーリミッツチャレンジ、リオ2016年大会時のライブサイト等）のみとなっている。